



平成25年度

## 第7回みみらんどセミナー

きこえシリーズ④

- ☆ 実施日時 ☆ 平成25年7月25日(木) 13:30~15:30
- ☆ テーマ ☆ 「人工内耳講習会~人工内耳の紹介と日常生活の配慮点~」
- ☆ 講師 ☆ (株)コクレア マーケティング部 今岡 悦子 様

第7回みみらんどセミナーの概要をご報告いたします。

「人工内耳とは？」から始めた人工内耳講習会も今回で3回目となりました。

人工内耳は、「体内装置(インプラント)と対外装置(サウンドプロセッサ)」から成り立っています。体内装置は手術で埋め込み、体外装置は耳や頭部に装着します。日本では、1985年に初めて手術が行われ、はじめは1983年に作られた弁当箱型のものでしたが、年々進化していて小さなものになってきています。現在、学校にいるお子さんでは、Freedom や Esprit3G を使用しているお子さんが多いようですが、これからは2009年に発売された Nudieus5 を使用するお子さんが増えていくだろうということでした。



Nudieus5 は、第8代目のサウンドプロセッサです。インプラントは埋め込み手術をすると生涯それを使用しますが、サウンドプロセッサは、技術の進歩により新しいものになっています。7代目のサウンドプロセッサである Freedom よりも小さく、薄いです。Freedom は防水で水しぶき程度なら大丈夫ですが、水に落とすと故障します。Nudieus5 は充電電池使用の時は防水です。但し、防水だからと言ってそのままお風呂に入れる訳ではありません。Nudieus5 アクセサリの防水カバーがあり、それを使用するとつけたままプールに入ることができます。音も防水カバーをしていない時とほとんど変わりなく聞こえ、水深4メートルで2時間使用でき、お子さんが水泳を行うときには便利です。また、2つの無指向性マイクロホンがあり、消音効果は Freedom の3倍です。さらに、表示ランプは緑とオレンジの2色で、緑だと正常、オレンジだと不具合があることを知らせてくれます。誰にでも容易に分かる



ようになります。その他にも、改良された点がいくつかあります。(資料は、みみらんどふくしまにあります。)

参加者から、運動の時の注意点について質問がありました。頭に強い衝撃があると、インプラントが壊れることがあるので注意は必要ということでした。野球をしているお子さんがサウンドプロセッサの部分にゆとりがあるヘルメットを作って野球をしている例や、水泳の時にプールにサウンドプロセッサを落とさないようにするために、防水カバーの穴と水泳帽にひもを通してつなげ、落とさない工夫をしている例もご紹介いただきました。また、汗をかいたときは、濡れた状態でカバーや電池を外さないでそのままの状態ですすき取って欲しいとの話もありました。外してしまうと水が入って故障の原因になります。

人工内耳は手術をして装着すれば聞こえるようになるというものではなく、練習が必要ですよとの話があり、日本語リハビリテーション教材もご紹介いただきました。